

二の沼階段部分における土砂流入対策の実施について

【実施箇所の現状】

- ・ 三の沼側の急斜面に設置された階段部が浸食され、湿原に土砂が流入し堆積しており、早急な対策が必要である。
- ・ 土砂堆積が進行し、高層湿原が破壊されていく危険性がある。
- ・ ルートを付替え、既存歩道はチシマザサ群落へ再生させる対策が必要である。

【対策の考え方】

●土砂流出防止とチシマザサ群落の再生

①流水をコントロールし、土砂流出を抑制する

- ・ 洗掘箇所への土砂堆積および土砂安定を図る。
- ・ 大きな段差をなくし歩きやすくする。(表土が削られないようにする)
- ・ 流水を分散(登山道外に排水)させ、登山道内の流量を減らす。

②段階的な施工によって流出土砂を効果的に堆積させて地形を回復し、チシマザサ群落の早期再生を図る

- ・ 現歩道を利用している間は歩行可能な工法を、廃止後に再度土砂流出防止対策を実施する。
- ・ 分散排水は土砂が安定した後に行う。(来年度以降に実施)

【今年度の実施内容】

- 現地材料(ササ・樹枝等)を利用した土留工(資料2-2p8 参照)
- 小ステップの設置(資料2-2p10 参照)



洗掘により歩行困難な階段部



破損した階段部



ササを使った土留の事例



樹枝を使った土留の事例

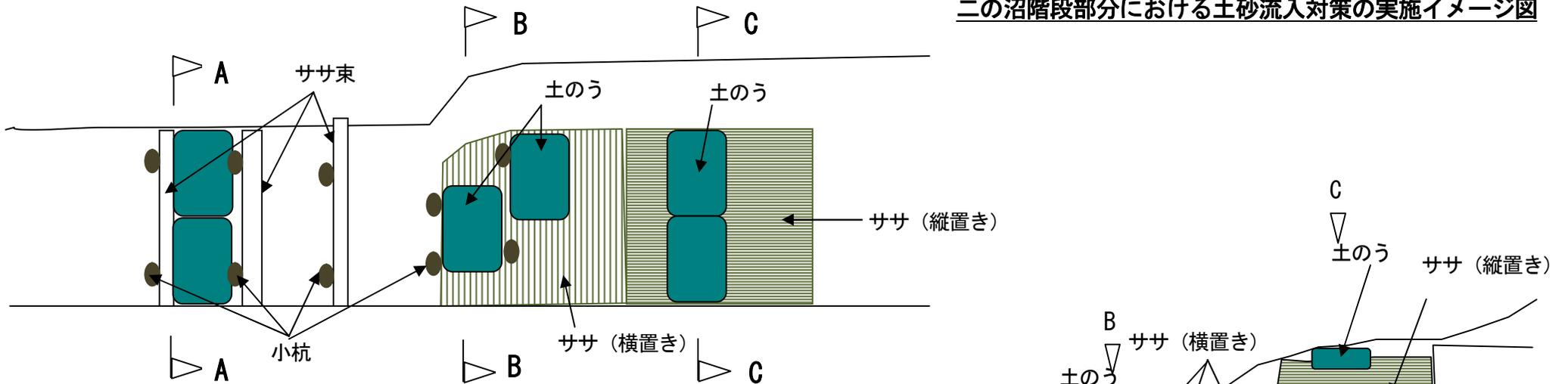


ササ束を使った土留の事例

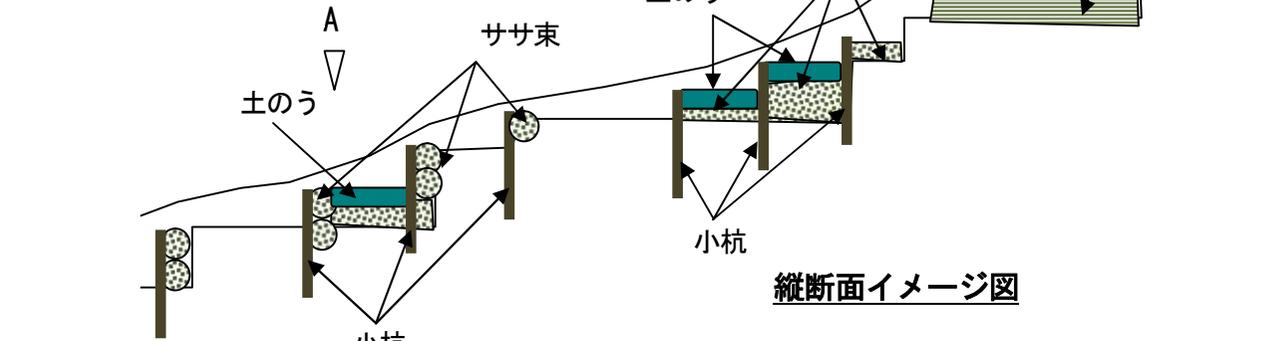


土嚢を使った小ステップ

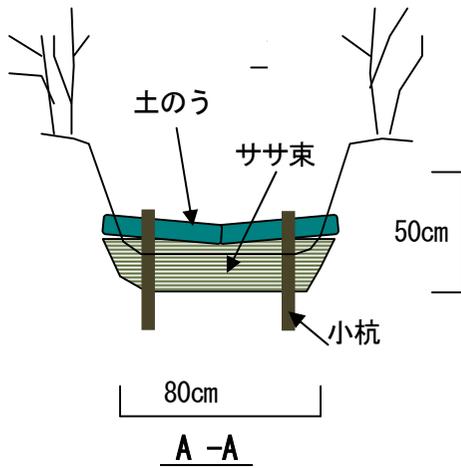
二の沼階段部分における土砂流入対策の実施イメージ図



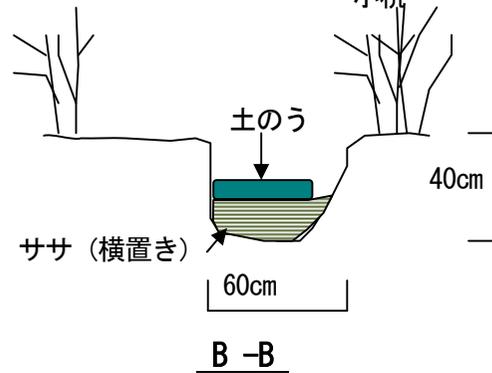
平面イメージ図



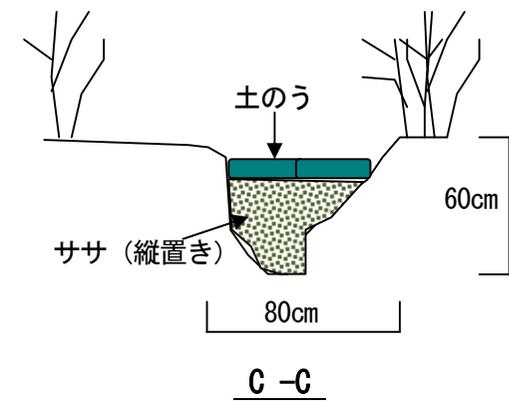
縦断面イメージ図



A-A



B-B



C-C

横断面イメージ図